12月定例会
市長報告

市長当選後の初の定例議会である。冒頭、市長が市政運営について決意を述べた。各部門ごとに進行中の市政、施策についての報告である。

はじめに

私にとって初めての市議会定例会であり、私の基本的な考えを申し述べたい。

まず旧三町村の融和一体化に努め、新市建設のテーマである『観光産業を活かした北東北の拠点都市』の実現に向け、それぞれの歴史や文化、豊富な資源を活かして仙北市全域が特色と魅力ある地域となるよう全力で市政運営に取り組んで参りたい。

そのまちづくりの基礎として

1、農林業。地場産業の振興と自立支援。

2、安全で安心な市民生活。福祉の向上と少子化。高齢化への対応。

3、人材育成と教育の充実。

4、地域の資源、文化の維持保存と育成。

5、効率的・構成・透明な行政運営。

この五つを重点に市民との対話を重ねながら実現に向け努力して参りたい。

そのための新市建設計画策定に取りかかる予定だがその過程で職員の皆様や市民のご意見を頂戴して参りたい。

職員とも一丸となり取り組む所存でありご協力をお願い致したい。

各部の主要事業について報告

1、『手作り郷土（ふるさと）大賞』を受賞した。

角館武家屋敷が国土交通省から地域住民の創意工夫や活動が優れていると認められその認定証伝達式が十二月に行われる。

2、合併と伴う電算機統合事業が順調に進み、基幹系、財務システム、ネットワークシステムが終了した。

次の段階で国保事業、高額医療システム、農家台帳の統合などに取り組むこととした。

3、十一月三十日秋田わか杉国体実行委員会立ち上げ。十九年当市で行われるスキー、馬術、カヌー、軟式野球及びデュアスロンの開催に向け準備を進める。

4、西明寺保育園建設事業、栃の木六本杉線・平和橋掛替え工事、都市計画街路事業（角館）、田沢湖駅前広場関連事業などそれぞれ計画通り進行している。

5、抱返り渓谷歩道危険個所防除事業に県予算がつく見通しとなる。

6、十七年産米の集荷状況は、計画の一〇二％で二一万二三三〇俵となり、一等米比率は全市平均九三・六％となった。

7、下水道工事は、旧町村で発注し市に引継がれた工事はすべて完工した。

これからの発注見込は、「岩瀬北野線」、「田沢地区の農集排水事業」の十八年着工をめざし、二億五千万円の予算要求を行った。

8、除雪計画

初めての冬を迎えたが、今年度は旧町村単位の計画で実施する。それぞれ三地区で安全祈願祭を実施した。

9、病院事業

田沢湖病院は入院、外来とも昨年同期より減少した。

角館病院は入院はわずかに増となり、外来は減少となっている。

両病院とも地域住民の安全安心の医療を提供し、一層の健全経営に努めて参りたい。

オペレーターも汗を流して除雪